

# ワシントンD.C.・ フィラデルフィア・ニューヨーク

## リニューアルやICTテクノロジーを活用し 既存SCの再活性化を図る米国SC

ICSC(国際ショッピングセンター協会)および商業用不動産情報会社最大手のCoStar社によると、2017年の米国SC総数は116,160SCとなり、前年比増加数は統計を取り始めて以来最も少ない276SCに留まりました。

金融大手のクレディスイスが、オンライン販売の急伸と飽和状態と言えるSC業界を鑑みて、「今後5年以内に米国内のショッピングモールの20～25%が閉鎖に追い込まれる」という報告書を公表し大きな話題となりました。

今後も大型SCの新規開発が急増するとは考えられず、各ディベロッパーにとって、退店した核テナントスペースの活用、住宅やオフィス、ホテルとの複合化、ICT技術を用いた新たなサービスの導入と

顧客の囲い込みといった既存SCの再活性化と、急伸を続けているオンライン販売対策が依然として喫緊の課題となっています。

そこで、今回はICSCの顕彰する賞を多く受賞しているSCが視られる、ワシントンD.C.やフィラデルフィア、

ニューヨークを訪れ、既存SCの再活性化手法を学びたいと思います。

視察研修ツアーのコーディネーターには、丁寧な解説とご案内が評判のジェイ広山氏にお願いし、一緒に視察をしたいと思います。



フィラデルフィア

大人お一人様ご旅行代金

※SC協会会員の方。  
※お一人様1室のご利用。

# 549,000円

※燃油サーチャージ(目安:21,200円、2018年5月28日現在)、成田空港施設使用料(2,090円)、旅客保安サービス料(520円)、海外空港諸税(概算:6,970円、2018年5月28日現在)が別途必要となります。

お一人様ご旅行代金(2名1室ご希望の場合)

※SC協会会員の方のみ、  
一般の方の設定はございません。

# 459,000円

## ワシントンD.C.

1968年にオープンした地域No.1の集客力を堅持し、2016年ICSCの拡張・改装サステナブルデザイン部門金賞受賞SC  
**「タイソンズ・コーナー」**

1968年にオープンしたSRSCだが、地域No.1の集客力を堅持しており、現在、職・住・娯楽の融合を目指しオフィススペース、分譲マンション、ホテルの建設を進めている。開発の中心を成す同SCは、2005年秋には32,500 m<sup>2</sup>の増設を終え、GLAは181,000 m<sup>2</sup>となった。核テナントはブルーミングデールズ、ノードストローム、ヘクト、ロード&ティラー、L.L.ビーンの5店で、テナント数は約200店を擁している。また、ICSCの2016年拡張・改装サステナブルデザイン部門の金賞を受賞した。

職・住・娯楽を一体化したメインストリート開発。2013年ICSCのデザイン&ディベロップメントアワード新設複合開発プロジェクト、サステナブルデザインの両部門の金賞を受賞したSC  
**「モザイク・ディストリクト」**

オフィススペース、住宅、ホテル、そしてリテールスペースやマルチシネマを併せ持つ、職・住・娯楽を一体化したメインストリート開発で、ICSCの2013年デザイン&ディベロップメントアワード新設複合開発プロジェクトおよびサステナブルデザインの両部門の金賞を受賞した。

ウォーターフロントの大規模複合開発で地域住民のスポットになっている

### 「ナショナルハーバー」

敷地面積が1.2km<sup>2</sup>にもおよぶウォーターフロントの分譲／賃貸マンション、ホテル、コンベンションセンター、ヨットハーバーを含む大規模複合商業開発で、地域住民のスポットとなっている。

## フィラデルフィア

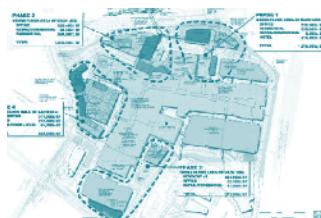
テナント数が400店を超える全米第2位のGLAを誇るSRSC。2016年に拡張・改装工事が竣工し、ラグジュアリーウィングがオープン。

### 「キング・オブ・プロシアモール」

テナント数が400店を超える全米第2位のGLAを誇るSRSCで、2015年11月には圧倒的な価格訴求力を誇るアイルランドのプライマークが出店した他、2014年から行われていた1億5,000万ドルを投じた拡張・改装工事が2016年8月に竣工し、ラグジュアリーウィングがオープンした。

#### コーディネーター紹介 ジェイ広山氏 Office J.K. Int'l Inc. 代表

卸売会社の営業および企画開発部門に勤務後、渡米。米国ニューヨーク在住。米国および日本の流通業界に関する幅広い知識と、全米のショッピングセンター開発(都市開発を含む)に関する豊富な現地調査の経験を有しており、日米両国にてコンサルティング業務、市場動向調査、講演会を手がけている。ほかに、当協会を含め米国流通視察のコーディネーターを数多く務めている。



## ニューヨーク

大改装により、フレンチスタイルのフードホールやニューヨークの人気レストランが出店しているフードコートが併設されハイグレードなSCに変貌

### 「ブルックフィールドプレイス」

ワン・ワールドトレードセンターの前にあるウインターガーデン・アトリウムで知られるブルックフィールドプラザ(旧名ワールドファイナンシャルセンター)はオープン後25年を経て、大改装を実施しハイグレードなSCに変貌し、フレンチスタイルのフードホールであるル・ディストリクトやニューヨークの人気レストランが出店しているハドソンイーツと称するフードコートが併設された。また、2016年9月および2017年2月にサックス・フィフスアベニュー・レディース館、メンズ館がそれぞれオープンした。



2001年9月11日のテロで崩落したワールドトレードセンターの跡地に、2016年8月開業したSC

### 「ウェストフィールド・ワールドトレードセンター」

2001年9月11日のテロによって崩落したワールドトレードセンターの再建再建を終え、2016年8月16日にオープンした地下鉄や近郊への通勤列車の発着する新ターミナルと複合されたSC。同センターの小売スペース(地下)のマスターリースを取得したのはオーストラリアのSCデベロッパーであるウェストフィールド・グループで、総賃貸面積は33,910 m<sup>2</sup>、テナント数は150店で、イーカリーも入っている。



2016年にオープンした超高層マンションと複合した都市型パワーセンター

### 「シティーポイント」

ブルックリンのダウンタウンに2016年10月にソフトオープンした59階建ての超高層マンション(450戸)を複合した都市型パワーセンターで、キーテナントはアップスケールディスカウントストアのターゲット(都市型店)、センチュリー21、トレーダージョーズ。



地域住民の人気スポットとなっている、工場跡地を改造したフードマーケットやトレンディースポットとして注目を浴びている

### 「チャーチシーマーケットおよびミートパッキング地区」

ナビスコの工場跡地を改造して作られたユニークなフードマーケットで、小売と卸売20店ほどが軒を連ね、地域住民の人気スポットとなっている。また、ソーホーに次ぐトレンディースポットとして注目を浴びているミートパッキング地区やハイライン公園が近接している。



## ツア－事前説明会

日 時：2018年9月中旬 14:00～18:00(予定)  
内 容：講演会「米国流通事情(仮)」、ツア－注意事項説明、懇親会  
参 加 料：無料  
会 場：日本ショッピングセンター協会・会議室(東京都文京区後楽)

## 今後の予定

11月▶ヨーロッパ  
2月または3月▶  
米国西海岸

# 日 程 表

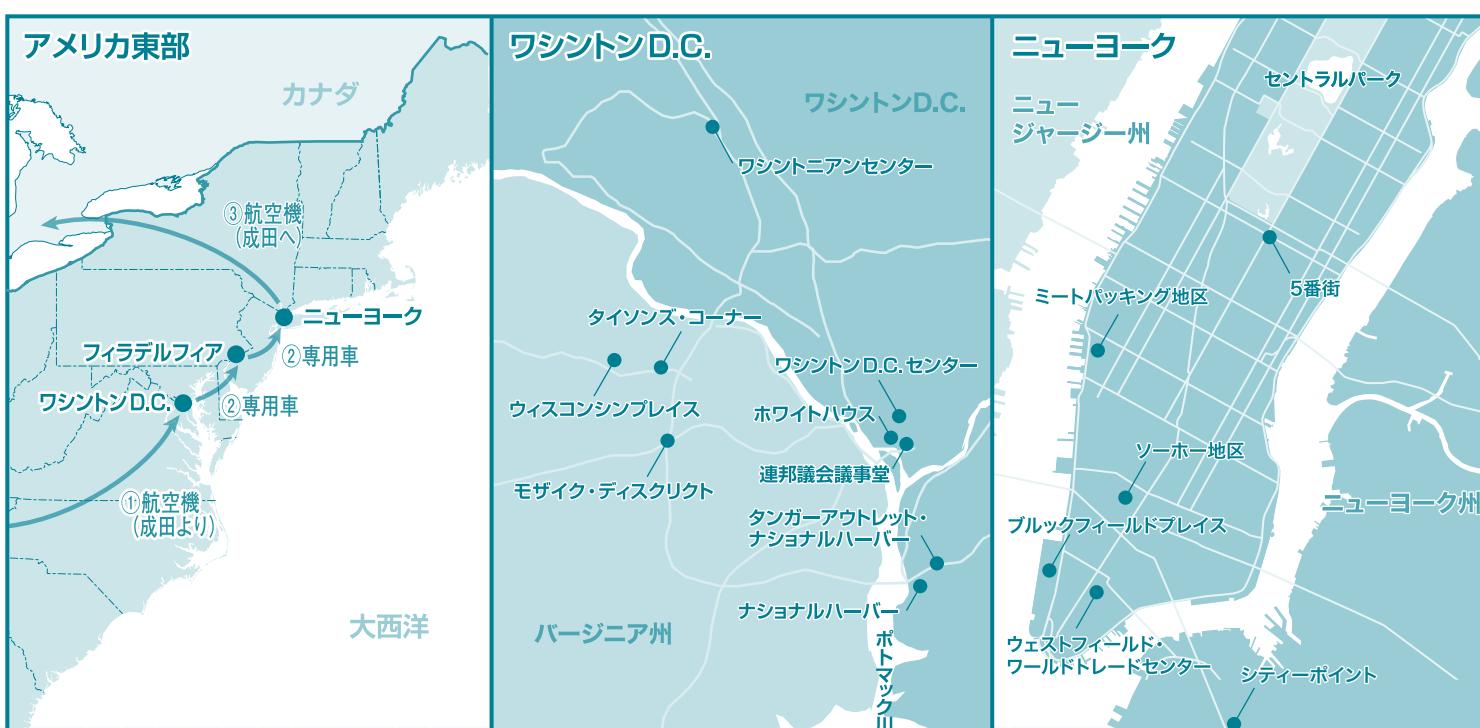
日次	月 日 (曜日)	訪問地	交通機関	スケジュール	食事
1	2018年 9/26 (水)	成田発 ワシントンD.C.着	NH002 専用車	08:30: 成田空港集合 11:00: 空路、直行便にてワシントンD.C.へ  10:40: 着後、専用車にて商業施設視察へ ●タイソンズ・コーナー ●モザイク・ディスクリクト ●シティーセンター D.C. ●ナショナルハーバー  夜 : ★SC 協会主催ウェルカムパーティー	機内 機内 昼:X 夕:○
2	9/27 (木)	ワシントンD.C.	専用車	朝 : コーディネーターによるセミナー 終 日 : セミナー後、商業施設視察 ●ワシントニアンセンター ●ウィスコンシンプレイス ●タンガーアウトレット・ナショナルハーバー	朝:○ 昼:X 夕:X
3	9/28 (金)	ワシントンD.C. フィラデルフィア ニューヨーク ニューヨーク	専用車	朝 : 専用車にて、ワシントンD.C.からニューヨークへ 終 日 : 途中、フィラデルフィア近郊にて商業施設視察 ●キング・オブ・プロシア・タウンセンター ●ウォルマート・スーパーセンター ●キング・オブ・プロシアモール	朝:○ 昼:X 夕:X
4	9/29 (土)	ニューヨーク	専用車	終 日 : 各自目的別視察  【無料オプション視察】9:00~14:00 コーディネーター同行による商業施設視察 地下鉄にて、ブルックリンのシティーポイントおよびダンボ地区を視察	朝:○ 昼:X 夕:X
5	9/30 (日)	ニューヨーク	専用車	終 日 : 商業施設視察 ●ブルックフィールドプレイス ●ウェストフィールド・ワールドトレードセンター ●ソーホー地区およびノリータ地区 ●チャーチスマーケットおよびミートパッキング地区  夜 : ★SC 協会主催フェアウェルパーティー	朝:○ 昼:X 夕:○
6	10/1 (月)	ニューヨーク発	NH009 専用車	午 前 : ホテルから空港へ 12:00: 空路、直行便にて帰国の途へ	朝:○ 機内
7	10/2 (火)	成田着		15:00: 成田空港到着後、入国審査・通関後、解散	機内

※NH:全日空

※視察先ならびに交通機関・時刻は変更になる場合がございます。

☆時間帯の目安

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜	終日
04:00	06:00	08:00	12:00	16:00	18:00	23:00	04:00 09:00 17:00



# 募集要項

■旅行期間 2018年9月26日(水)~10月2日(火) 7日間(5泊7日)

■旅行代金 大人お一人様(航空機エコノミークラス・1名1室利用)

1室1名様利用	SC協会会員の方	一般参加の方	※1 2名1室利用ご希望の場合は、お一人様 459,000円となります。 (会員のみ。一般の方の設定はございません)。
	549,000円	769,000円	

ビジネスクラス席 利用追加代金	480,000円	国内線特別代金プラン	※下記のお問い合わせ先旅行会社までお問い合わせください。
--------------------	----------	------------	------------------------------

\*※燃油サーチャージ(目安:21,200円、2018年5月28日現在)、成田空港施設使用料(2,090円)、旅客保安サービス料(520円)、海外空港諸税(概算:6,970円、2018年5月28日現在)が別途必要となります。

■募集人員 40名(最少催行人員20名)

■申込締切日 2018年8月6日(月)(但し定員になり次第締め切ります)

■申込方法 参加申込書に必要な事項をご記入の上、郵送またはFAXでご送付ください。参加申込書を受け取り次第、旅行申込金(110,000円)またはご一括の請求書を発送いたします。(申込後、口座をご案内いたします)。

■添乗員 全行程1名同行いたします。

■利用予定日本 全日空(NH)

発着航空会社

■利用ホテル 【ワシントンD.C.】ホリデイ・イン ロズリンまたはホリデイ・イン・ワシントンD.C./ホワイトハウス 【ニューヨーク】スチュワートホテル

■食事条件 朝食5回/昼食0回/夕食2回(機内食は含まれません)【ドリンク代を除く】

算出基準日:2018年5月28日

## ■旅行代金に含まれるもの

- 航空運賃エコノミークラス(全行程エコノミークラス)○宿泊代金(1名1室利用)○シャワー、トイレ付(ただしバスタブ付きのお部屋になります)○食事料金:行程に含む回数(食事の際のドリンク代除く)○觀光料金:日程表記載の専用車代金、観光・視察時のバス、ガイド料金○手荷物料金:利用航空会社の規定による○添乗員費用○団体旅行中の税金、チップ※上記費用はお客様の都合により一部利用されなくとも払い戻し不可以ません。

## ■旅行代金に含まれないもの

- 超過料手荷物料金(規定の重量、容量、個数を超える分について)○個人の性格の費用上含まれない食事代、クリーニング代、電話代○渡航手続費用(渡航手続代行料金)○日本国内における自宅～空港～自宅までの国内交通費○海外旅行傷害保険※上記以外は、旅行代金に含まれませんが、参加にあたって通常必要となる費用を示します。○旅券印紙・証紙代(5年有効旅券:11,000円、10年有効旅券:16,000円)○運送機関の料金(燃油サーチャージ(目安:21,200円 2018年5月28日現在)○空港施設利用料2,090円(成田)○成田空港旅客保安サービス料520円○海外空港税6,970円※上記の日本円換算額は2018年5月28日の三ヶUJ銀行の店頭交換率で電信送金レート(US\$1=110.53円)を基準に算出しております。※為替レートの変動により過不足が生じた場合、清算はいたしません。航空会社の定める不可運賃、料金が変更された場合は、増額になった時は不足分を追加徵収し、減額になった時は、その分をお返します。※旅行代金

算出基準日:2018年5月28日

## ■アメリカESTAについて

1. 旅券(パスポート)  
帰国時まで有効なもの、ただしIC旅券(e-passport)であること。(ビザエーパーブログラムにより米国に入国する場合は、旅券の残存期間が90日以上ある人は90日間の滞在許可がおります)。現在お持ちの旅券が今回の旅行に有効かどうかの確認、旅券申請等はお客様責任で行ってください。お客様のご希望により別途渡航手続代行料金をいただいてお受けすることもできます。
2. 評議(ビザ)  
一定の条件を満たしている方は事前にESTA(電子渡航認証)を取得することで無査証でご入国いただけます。現在お持ちの旅券が今回の旅行に有効かどうかの確認、旅券-ESTA(電子渡航認証)の取得はお客様の責任で行ってください。ESTAを取得できない場合は米国査証の申請が必要です。査証取得までヶ月以上要する場合があります。ご出発までに査証が取得できない場合、旅行契約を解除せねばなりません。その場合の取消料はお客様ご負担となります。なおこれらは、お客様のご希望により別途渡航手続代行料金をいたしております。※上記旅券、査証について日本国籍以外の方は自国・渡航先国の領事館、入国管理事務所にお問い合わせください。
3. 渡航手続代行料金  
この旅行の参加にあたっては、旅券、ESTA(電子渡航認証)、米国および日本の税關申告書が必要ですが、当社でそれらの作成手續を行なう場合の料金は下記のとおりです。代行を希望される場合はお申し出下さい。
- (1) 旅券書類代行料金の作成代行4,320円
- (2) 米国のESTA(電子渡航認証)の登録または確認・修正および査証の発行、または内容の確認4,320円
- (3) 米国のESTA(電子渡航認証)の登録もしくは確認・修正と査証の発行または登録内容の確認、米国および日本の税關申告書の作成代行並びに旅券の有効性確認4,680円
- (4) 米国および日本の税關申告書の作成代行並びに旅券・査証の有効性確認5,400円
- ※上記料金には、消費税(8%)は含まれております。旅券印紙料(有効期間10年:16,000円・5年:11,000円)等は含まれておりません。※上記金額にはESTA申請料14USSは含まれておりません。なお、ESTA申請が拒否となった場合でも上記渡航手続代行料金はかかります。
- ※日本国籍以外の方で、弊社に査証取得等のご依頼をされた場合は渡航手続代行料金が異なります。

## 旅行条件(要約)

### 1.募集型企画旅行契約

- (1) この旅行は、株式会社南海国際旅行(以下「当社」といいます。)が企画・募集・実施するものであり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。
- (2) 旅行契約の内容・条件は、募集パンフレット(以下「契約書面」といいます。)・本旅行条件書・出発前に掲げる最終旅行日程表及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部(以下「約款」といいます。)によります。

### 2.旅行のお申込み及び契約成立期

- (1) 所定の申込書に必要な事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申込み下さい。お申込み金は、旅行代金を支払い際、差し引かれています。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリ、Eメール及びその他の通信手段でのお申込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4) お申込み金(おひとり様)110,000円又は旅行代金全額。

### 3.旅行代金のお支払い

- 旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目にあたる日より前にお支払いいただきます。旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目にあたる日以降にお申込みの場合、旅行開始前の当社が指定する限りまでお支払いいただきます。
- また、お客様が当社提供カード会社の会員である場合、お客様の署名にて旅行代金、取消料・追加諸費用などをお支払いいただけます。この場合のカード利用日は、お客様からお申出がない限り、お客様の承諾日といたします。

### 4.通信契約

- 当社は、当社が提供するクレジットカード会社(以下「提携会社」という)のカード会員(以下「会員」といいます)所定の伝票への会員の署名にて旅行代金や取消料等のお支払いを受けることを条件に電話、郵便、ファクシミリ、インターネット、Eメール等の他の通信手段により旅行のお申込みを受けて契約を締結することができますが(以下「通信契約」といいます)、通常の旅行条件と以下の点で異なります。(受託旅行業者によると該取消ができない場合や、取扱いされるカードの種類に制約がある場合があります)。
- (1) 通信契約のお申込みに際し、お客様のお名前は「カード名」、「会員番号」「クレジットカード番号」、「カード有効期限」等を当社からお申出いただきます。
- (2) 通信契約は、当社からが通信契約の締結を承諾する旨の通知を電子メール、ファクシミリ、留守番電話等の電子承認通知による方法で通知する場合は、当該通知がお客様に到達した時に成立します。

- (3) 通信契約での「カード利用日」は、お客様及び当社が契約に基づく旅行代金等の支払い又は仮払債務を履行すべき日とし、前者の場合は契約成立日、後者の場合は契約解除のお申込日のあつた日となります。

- (4) 与信等の理由によりお客様のお申込のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解約し、第15項(1)の(ア)の取消料と同額の違約料を申し受けます。但し、当該契約の申込みを承諾する旨の通知を電子メール、ファクシミリ、留守番電話等の電子承認通知による方法で通知する場合は、当該通知がお客様に到達した時に成立します。

- (5) 通信契約での「カード利用日」は、お客様及び当社が契約に基づく旅行代金等の支払い又は仮払債務を履行すべき日とし、前者の場合は契約成立日、後者の場合は契約解除のお申込日のあつた日となります。

- (6) 与信等の理由によりお客様のお申込のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解約し、第15項(1)の(ア)の取消料と同額の違約料を申し受けます。但し、当該契約の申込みを承認する旨の通知を電子メール、ファクシミリ、留守番電話等の電子承認通知による方法で通知する場合は、当該通知がお客様に到達した時に成立します。

- (7) 通信契約の解約・払い戻し  
旅行開始前の解約・払い戻し  
お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつもも旅行契約を解除することができます。但し、解約のお申出は、当社の営業時間内にお受けいたします。

- 6.旅行代金に含まれるもの  
(1) 旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金(エコノミークラス)

- (2) 旅行日程に明示した観光の料金(バス・ガイド・入場料など)
- (3) 旅行日程に明示したホテルの宿泊料金及び税・サービス料金(1人部屋に一人ずつの宿泊を基準とします)。

- (4) 旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金。
- (5) 現地への手荷物運送料金。

- (6) 現地での手荷物運送料金。(一部の空港・ホテルではボーターがないなどの理由により、お客様ご自身で運搬していただけます。)

- (7) 添乗員同行費用。

- (8) 团体行動中のチップ。

- 上記(1)～(8)の諸費用はお客様のご都合により、一部利用されなくとも原則として払い戻しはいたしません。

- 7.旅行代金に含まれないもの  
第6項の他のは旅行代金に含まれております。その一部を以下に例示いたします。

旅行企画・  
実施・  
お申込み・  
お問い合わせ先

株式会社 南海国際旅行 東日本営業部 法人営業第二支店

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル3階

TEL: 03-3543-9677 FAX: 03-3543-9688担当: 奥村・大塚

営業日・営業時間: 月～金 / 9:30～17:30 (土・日・祝日休業) ※休業日と営業時間

外の取消・変更のお申出には対応できませんので、翌営業日の対応となります。

親友庁長官登録旅行業者第29号

旅行業公正取引協議会会員

(一社)日本旅行業協会会員

ボンド保証会員

お申込みの際にには、必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前に内容をご確認のお申込みください。

いて、契約書面の記載内容と確定書面の記載内容との間または確定書面の記載内容と実際に実施された旅行サービスの内容との間に変更が生じたときは、それらの変更について1件として取り扱いいたします。

注3: 1. 件: 運送機関の場合、乗車船などごとに、宿泊機関の場合1泊ごとに、その他のサービスの場合は1回とされています。

注4: 3. 件: 4に掲げる運送機関の場合、当該事項ごとに1件といいます。

注5: 4に掲げる運送機関の場合、その会社の変更については、等級または設備がより高いものへの変更を伴う場合は適用いたしません。

注6: 4. または7も8には8に掲げる変更が乗車船などまたは1泊ごとに複数生じた場合であっても、1乗車船などまたは1泊ごとに1件として取り扱いいたします。

注7: 9に掲げる変更については、1～8の料率を適用せず、9の料率を適用いたします。

10. 旅券について  
(日本国籍以外のお客様は、自国・領事館、入国管理事務所にお問い合わせください。

旅券(パスポート): このパンフレット記載の旅行には、2019年4月2日以降も有効期限が残っている旅券が必要です。現在お持っている旅券が今回の旅行に有効かどうかの確認、旅券取得はお客様の責任で行ってください。これらの手続等の代行について、販売店(当社)が渡航手続代行料金をいたしてお受けれます。

11. 海外危険情報について  
海外危険情報について、(元は国又は地域)によっては、外務省「海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が公表されている場合があります。その際はお申込み時に販売店より「海外危険情報に掲載する書面」をお渡しいたします。また「外務省海外安全ページ」<http://www.pubbanzen.mofa.go.jp/>でもご確認いただけます。

12. 海外旅行傷害保険への加入について  
海外において、病気・けがをされた場合、高額の治療費、移送費等がかかることがあります。また事故の場合、賠償すべき損害賃償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費・移送費・また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分充份の海外旅行傷害保険に加入することをお勧めします。海外旅行傷害保険について販売店の係員にお問い合わせください。

13. 個人情報の取扱いについて  
お申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただけます。お客様がお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等との提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要とされる範囲内で利用させていただきます。

※このほか、当社では、会員及び会員と提携する企業の商品やサービス、キャンペーンの案内、旅行参加後のご意見や感想の提供のお願い、3.アンケートのお願い、4.特典サービスの提供、5.統計資料の作成にお客様の個人情報を利用させていただいくことをございます。

14. 個人情報の取扱いについて  
お客様の個人情報を、守秘義務契約を締結した上産物店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名、パスポート番号及び搭乗される航空便名とともに係りの手配等でお客様の個人情報を提供する方法などによって提供いたします。なお、これらの事業者への個人データの提供の停止を希望される場合は、当社のお問い合わせ窓口へ、出発前までお申出ください。

(3) 上記のほか、当社の個人情報の取扱いに関する方針については、当社の店頭またはホームページでご確認ください。

14. その他  
(1) 客様が個人的な内面・買い物などを添乗員に依頼された場合のそれに伴う諸費用、お客様の怪我・疾病などの発生に伴う諸費用、お客様の不注意による荷物紛失・忘れ物回収に伴う諸費用、別行動手配に要した諸費用が生じたときは、それらの費用をお客様ご負担いただきます。

(2) 客様の便宜をはかるため土産物店にて購入していただきます。

(3) 事故等のお申出について  
旅行中に、事故等が生じた場合は、直ちに最終旅行日程表でお知らせする連絡先にご連絡ください。(もし、お問い合わせがない場合は、その事情がなくなり次第通知ください)。

(5) 当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社によるマイレージサービスのマイルを獲得できる場合ございますが、同サービスの登録、お問い合わせなどは原則として直接当該航空会社へ行っていただきます。また、契約書面や確定書面に記載した利用航空会社や搭乗区間などの変更も実際に搭乗がなされた場合には、当該航空会社は別途料金で計算いたします。

(6) 当社所定の旅行申込書にお客様のローマ字名を記入される際には、旅行に使用される電子メールアドレスにて記載されています。お客様の氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行等、関係する機関への料金訂正などを必要にします。この場合、当社は、お客様の代替手配料をいただけます。なお、運送・宿泊機関の事情により、第14項のお客様の代替手配料をいただけます。

15. 旅行条件・旅行代金の基準  
この旅行条件・旅行代金は2018年5月28日を基準としています。また旅行代金は2018年5月28日現在の有効運賃・規則と基準として算出しています。

注2: 確定書面(最終旅行日程表)が交付された場合には、「契約書面(募集パンフレット)」とあるのを「確定書面」と読み替えた上で、この表を適用いたします。この場合にお

総合旅行業務取扱管理者/大友 広幸  
総合旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取扱いの責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者におたずねください。